

Good books, Good shops

店主
の
本棚

市川市の店主さんが選んだ本をご紹介します

今月の店主

三毛猫雑貨店

Mikenzozakbaten



市川市八幡3-7-2 moto.8 2階



お店情報はこちら



ネコヅメの夜
(町田 尚子)

私の思う猫絵本の最高傑作。解説などの言葉はいらないと思うので、この先に何があるのか、猫さんたちと一緒にワクワクしながらページをめくっていただきます。

タンゲくん
(片山 健)

タンゲくんは迫力ある見た目だけど、ちょっと情けなかつたりものすごく甘えん坊だったり、どんなタンゲくんもかわいくてしょうがない。**猫と暮らすってこんなに楽しいよ！**

猫と悪魔
(ジェイムズ・ジョイス)

ジェイムズ・ジョイスにはこんな絵本も。市長に裏切られた悪魔が何とも気の毒なお話ですが、大人になって再読し、その後かわいい猫と暮らして悪魔さんも幸せになっていたらいいななんて思います。**だいぶ昔に絶版になっていますが、図書館でなら読めるはず。**

ルドルフと
いくねこくるねこ
(斉藤 洋)

「ルドルフとイッパイアッテナ」シリーズの3作目。シリーズはどれもおススメですが、この巻では江戸川区に住むルドルフたちが川向こうの市川に住む猫たちと交流します。ルドルフはどこら辺に住んでいるのかな、なんて想像しながら読むのも楽しいですよ。

伊藤潤二の猫日記
よん&むー
(伊藤 潤二)

猫たちに好かれたくてジタバタする姿は、傍から見たら笑ってしまうけど本人は必死なのです。我が家でも日々このマンガみたいな場面が繰り返されています。ジタバタしたって、**猫の気まぐれに翻弄されるのは猫と暮らす醍醐味でもあります。**

おおきなねこと
ちいさなねこ
(石黒 亜矢子)

作者は「よん&むー」に出てくるA子さん。登場するおおきなねこさんとちいさなねこさんは…。

ノラや
(内田 百閒)

有名な作家さんも猫の前ではただのおじいちゃん。偏屈な老人が帰ってこない猫を思って毎日毎日泣き暮らす、ただそれだけの話。でもつられて一緒に泣いてしまうのです。猫は絶対に脱走させてはいけません！

これから猫を飼う人に
伝えたい11のこと
(仁尾 智)

短歌とエッセイとかわいいイラストとが11篇。**猫を飼うとはどういうことなのか、31文字の短歌の中に全てが詰まっています。**これから猫を飼う人にはぜひ読んでほしい、そしてもう飼っている人には泣けちゃう1冊。

みさおとふくまる
(伊原 美代子)

おばあちゃんと猫との素敵な関係。ただただ美しい写真集です。こんなふうに歳をとっていきたくないなあ。

猫が食べると危ない食品・
植物・家の中の物図鑑
(服部 幸)

食品、植物、日用品などなど、どの家にもあるようなものが実は猫にとって危険だったりします。この本を読んで家の中をもう一度確認してみませんか？**猫を飼っているお家にはぜひ置いてほしい本。**

百年の孤独
(G.ガルシア=マルケス)

無人島に1冊だけ持っていくなればこれ(猫本ではありません)。登場人物ははちゃめちゃだし同じ名前だらけだし、何だこれ??とと思っているうちに物語に惹き込まれていきます。人生けっこう何とかなるんじゃないかと、読むとなぜか元気になってくる不思議な小説。でも、無人島に猫がいるなら本はなくても大丈夫かもしれない。